

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
論文指導演習 I	1年次春学期 (1セメスター)	2	梅田 守彦
授業概要			
この演習では、受講生の修士論文作成に向けて文献を輪読しディスカッションを行なう。			
授業目標(到達目標)			
先行研究をきちんと押さえたうえで自らの考えを多少なりとも織り込んだ修士論文の完成を目指す。			
授業方法			
報告者が自主的に取り上げた文献について、担当教員・受講者全員で議論をし理解を深めていく。			
成績評価方法・基準			
各時間における報告内容および論文の完成度			
教科書・教材・参考文献 等			
未定			
質問への対応(オフィスアワー等)			
授業時間中またはオフィスアワー(木曜2限 梅田研究室)等にて対応する			
授業計画			
	項目	内容	
1	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
2	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
3	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
4	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
5	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
6	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
7	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
8	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
9	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
10	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
11	研究指導	1セメスターで学習したことのまとめを報告	
12	研究指導	1セメスターで学習したことのまとめを報告	
13	研究指導	1セメスターで学習したことのまとめを報告	
14	研究指導	2セメスターへ向けての課題の洗い出し	
15	研究指導	2セメスターへ向けての課題の洗い出し	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
とくになし。十分に予習をして授業に臨んでください。			

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
論文指導演習Ⅱ	1年次秋学期 (2セメスター)	2	梅田 守彦
授業概要			
この演習では、受講生の修士論文作成に向けて文献を輪読しディスカッションを行なう。			
授業目標(到達目標)			
先行研究をきちんと押さえたうえで自らの考えを多少なりとも織り込んだ修士論文の完成を目指す。			
授業方法			
報告者が自主的に取り上げた文献について、担当教員・受講者全員で議論をし理解を深めていく。			
成績評価方法・基準			
各時間における報告内容および論文の完成度			
教科書・教材・参考文献 等			
未定			
質問への対応(オフィスアワー等)			
授業時間中またはオフィスアワー(木曜2限 梅田研究室)等にて対応する			
授業計画			
	項目	内容	
1	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
2	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
3	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
4	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
5	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
6	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
7	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
8	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
9	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
10	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
11	研究指導	2セメスターで学習したことのまとめを報告	
12	研究指導	2セメスターで学習したことのまとめを報告	
13	研究指導	2セメスターで学習したことのまとめを報告	
14	研究指導	3セメスターへ向けての課題の洗い出し	
15	研究指導	3セメスターへ向けての課題の洗い出し	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
とくになし。十分に予習をして授業に臨んでください。			

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
論文指導演習Ⅲ	2年次春学期 (3セメスター)	2	梅田 守彦
授業概要			
この演習では、受講生の修士論文作成に向けて文献を輪読しディスカッションを行なう。			
授業目標(到達目標)			
先行研究をきちんと押さえたうえで自らの考えを多少なりとも織り込んだ修士論文の完成を目指す。			
授業方法			
報告者が自主的に取り上げた文献について、担当教員・受講者全員で議論をし理解を深めていく。			
成績評価方法・基準			
各時間における報告内容および論文の完成度			
教科書・教材・参考文献 等			
未定			
質問への対応(オフィスアワー等)			
授業時間中またはオフィスアワー(木曜2限 梅田研究室)等にて対応する			
授業計画			
	項目	内容	
1	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
2	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
3	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
4	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
5	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
6	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
7	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
8	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
9	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
10	研究指導	報告者が取り上げた文献の輪読・ディスカッション	
11	研究指導	3セメスターで学習したことのまとめを報告	
12	研究指導	3セメスターで学習したことのまとめを報告	
13	研究指導	3セメスターで学習したことのまとめを報告	
14	研究指導	4セメスターへ向けての課題の洗い出し	
15	研究指導	4セメスターへ向けての課題の洗い出し	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
とくになし。十分に予習をして授業に臨んでください。			

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
論文指導演習Ⅳ	2年次秋学期 (4セメスター)	2	梅田 守彦
授業概要			
この演習では、受講生の修士論文作成に向けて文献を輪読しディスカッションを行なう。			
授業目標(到達目標)			
先行研究をきちんと押さえたうえで自らの考えを多少なりとも織り込んだ修士論文の完成を目指す。			
授業方法			
報告者が自主的に取り上げた文献について、担当教員・受講者全員で議論をし理解を深めていく。			
成績評価方法・基準			
各時間における報告内容および論文の完成度			
教科書・教材・参考文献 等			
未定			
質問への対応(オフィスアワー等)			
授業時間中またはオフィスアワー(木曜2限 梅田研究室)等にて対応する			
授業計画			
	項目	内容	
1	研究指導	修士論文の中間報告	
2	研究指導	修士論文の中間報告	
3	研究指導	修士論文の中間報告	
4	研究指導	修士論文の中間報告	
5	研究指導	修士論文の中間報告	
6	研究指導	修士論文の中間報告	
7	研究指導	修士論文の中間報告	
8	研究指導	修士論文の中間報告	
9	研究指導	修士論文の中間報告	
10	研究指導	修士論文の中間報告	
11	研究指導	修士論文の構成等のチェック	
12	研究指導	修士論文の構成等のチェック	
13	研究指導	修士論文の構成等のチェック	
14	研究指導	修士論文完成に向けての最終調整	
15	研究指導	修士論文完成に向けての最終調整	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
とくになし。十分に予習をして授業に臨んでください。			